

生活衛生とっとり

編集・発行

(公)鳥取県生活衛生
営業指導センター
鳥取市松並町2丁目160番地
城北ビル(1F)109号
T E L 0857(29)8590
F A X 0857(29)8591
E-mail:tottoricenter@seiei.or.jp
URL:https://seiei.tottori.jp/



新春に寄せて

鳥取県知事 平井 伸 治



生活衛生関係営業に携わられる皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

昨年10月19日から22日まで開かれた「ねりんピック鳥取大会」に県民の皆様のご協力を賜り、県人口を上回る54万人もの選手・役員等を迎え、各種の交流の花が咲き本県の魅力に触れていただくことができませんでしたことに対しまして、心より厚く御礼申し上げます。また、昨年は能登が地震や水害に襲われ、被災された皆様にお見舞い申し上げます。日本海側も災害とは無縁ではなく、今春お披露目の道の駅ほうじょうと連携して県全体の支援機関集結拠点を開設するほか、避難所環境整備や防災DX等の防災対策を精力的に展開してまいります。

切迫する国際情勢、物価高騰、少子高齢化、人口減少などの課題に立ち向かうべく、11月30日には石破茂総理はじめ各界の方々ご臨席の下「日本創生に向けた人口戦略フォーラムinとっとり」を開催し、未来の日本とふるさとをひらく国民的議論が、ここ鳥取の地からスタートしました。若者や女性にも選ばれるふるさとを目指し、今年、日本創生への歩みを鳥取県から始動する「創成元年」として、県民の皆様とチャレンジの火ぶたを切ります。

子育て対策では、専門医など現場から必要性の声があがるプレコンセプションケアを推進するとともに、団体・地域と連携した婚活イベントなど、出会いから結婚、妊娠、出産、子育てまで、若い皆さんの希望がかなう「シン・子育て王国」を加速させ、短時間正規職員など新しい働き方についても先導的に検討を開始します。

また、移住定住や関係人口創出を目指し、アプリでの情報発信、ワーケーション、週1副社長などの施策を推し進めるほか、大阪・関西万博会場で、鳥取県の魅力を伝える展示や県民文化を発揚する公演を実施するとともに、県内全体をパビリオンに見立てて誘客につなげる「とっとりリアル・パビリオン」を展開し、ソウル便や香港便、今春新規就航する台北便も含め、国内外からの誘客を図ってまいります。

更に、安心して住み続けられるふるさとに向け、中山間地における医療・介護サービス、地域交通、買物環境の確保を図るとともに、賃金水準向上の環境づくりや起業・事業承継など活力ある産業振興を積極的に推し進め、農林水産業のスマート化や担い手確保など活力向上を図るほか、「とっとり健康省エネ住宅」の普及はじめ環境立県を推し進めてまいります。

県民一人ひとりが地域の未来を創ります。ふるさとキャリア教育を推進し、小中高校生の地元定着を促進するとともに、ねりんピック鳥取大会のレガシーとして、高齢者の健康増進や活躍の場づくりを進め、鳥取県版ねりんピックを開催します。併せて、闇バイトや偽・誤情報対策、ひきこもり・ヤングケアラー支援など、暮らしの安心を守ってまいります。

いよいよ3月30日に、待望の県立美術館が、全国の注目を集めたアンディ・ウォーホル作「ブリコの箱」をはじめ国内外の優れた美術品による企画展からオープンし、県ゆかりの作家の作品コレクションやアートを学ぶ「アート・ラーニング・ラボ」など、年間を通じ多彩なプログラムを展開します。平成18年に凍結されて以来閉ざされていた境港・米子・日吉津を結ぶ高速道路構想の事業化に向けて踏み出すほか、倉吉西ICから倉吉南ICまで北条湯原道路が今春開通するなど、地方創生の礎をなす地域の社会基盤整備を強力に進めてまいります。

結びに、生活衛生関係営業に携わられる皆様の限りない御健勝と御多幸、そして鳥取県が益々輝く年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

組合だより

「コシジュンコ ファッションショー」の開催

美容業生活衛生同業組合



経営支援セミナーの一環として、パリコレクションをはじめ、世界各国で活躍されている世界的トップデザイナーのコシジュンコ氏によるレクチャーとファッションショーを昨年12月9日、米子コンベンションセンターで開催しました。

理事長発案の肝煎りプロジェクトとあって、県内美容講師会員の人脈を駆使し、CASTING OFFICE TAMMY(鳥取市のモデルクラブ)、コシジュンコ氏にヘアメイクチームのリーダーとして帯同されている上田美江子氏(トップヘアメイクアーティスト)、井手口円氏(福岡県美容組合)他スタッフ、および県内美容講師会員によるプロフェッショナル集団が組織され、ハイクオリティーな企画・立案を経て実現を果たしました。

会場に詰め掛けた300人(満席)は、世界レベルの「レクチャー」、「ファッションショー」、「コラボ企画のオペラ」に魅了され、予定されていた2時間は瞬く間に過ぎましたが、来場者全員がコシジュンコ氏から授けられたメッセージを胸に、感動と興奮の面持ちで会場を後にしました。

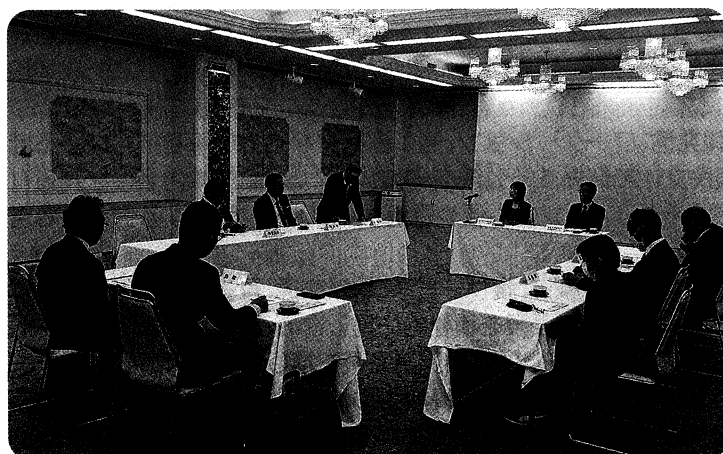
人口最少県の美容組合ですが、長年培われてきた組合内のチームワークと県外とのネットワーク、異業種交流の積み上げがあったからこそ、このイベントを成功裏に終わることができたと同時に、組合の存在意義と底力を内外に発信する機会になったと確信しました。

(副理事長 西尾)



西日本ブロック理事長会議の開催

公衆浴場業生活衛生同業組合



昨年11月18日、鳥取市の白兔会館で西日本ブロック理事長会議が開催されました。鳥取県では初めての開催です。

福岡、鹿児島、広島など6県の理事長が参加し、昨今の燃料費など物価高騰への対応策、各県の活動内容などを議題に話し合いました。県や市へ助成の働きかけ、入浴料金の見直しのほか、組合の活動として、若い方のSNSを通じたつながり力の活用や、地域の小学校・大学との連携などの取り組みが紹介されました。

また、このまま燃料費高騰が続くと、家庭風呂での入浴が贅沢なものとなり、かつてのような公衆浴場の必要性が高まるのでは、という見方や、(南海地震を見据えて)災害時における公衆浴場の役割、浴場施設の耐震性など多岐にわたり意見が交わされ有意義な会議となりました。

会議後の懇親会は市内の飲食店に会場を移し、鳥取の冬の味覚「松葉ガニ」に舌鼓を打ちながら親睦を深めました。

(理事長 松本)

衛生管理等に関する講習会の開催

食肉生活衛生同業組合

昨年7月31日に倉吉シティホテルにおいて、鳥取県食肉生活衛生同業組合の活動として鳥取県生活環境部くらしの安心局くらしの安心推進課の左藤夏子様を講師に招き「HACCPの考え方を取り入れた衛生管理及び食中毒の発生状況について」という講習会を開催しました。

講習会に参加された皆さんからは、食品の汚染などの危険を分析し、その危険を防ぐ為に衛生管理を考え行う事。食品の安全性を確保し、必要不可欠な衛生管理の手法であると改めて理解したとの感想も聞かれました。

今後も安全な食品を提供していけるよう努力していくことを参加者全員で確認して講習会を終えました。

(理事長 酒井)



経営研修会の開催

旅館ホテル生活衛生同業組合



令和6年度の生活衛生営業振興補助事業として昨年11月12日、組合員を対象とした「経営研修会」を倉吉市の「ホテルセントパレス倉吉」で開催しました。今年、国内最大イベントとなる「EXPO2025大阪・関西万博」(25年4月13日～10月13日)を控えて、第1部として山陰インバウンド機構の野浪健代表理事が現在の国内及び山陰のインバウンドの現状や機構の来年度事業や取り組み、また万博に関連した施策などの説明がありました。

都市部や有名観光地のある地域を中心に過去最高のペースで推移しているインバウンドであるがその増加の恩恵は全国津々浦々に及んでいるとは言い難い状況で、山陰のインバウンドの回復スピードは大幅に遅れていることは否めない。しかしながら、県内では一時的に運航休止になっていた韓国(ソウル)便や、先日には香港便も再開、さらに来年は台湾への国際定期便の新規就航も予定されており、関空、岡山、広島等から入ってくるインバウンドも日を追うごとに増加している。野浪氏は、国もインバウンドの地方

誘客、地方消費の拡大につながる施策に力を入れているなかで、山陰の魅力的な価値や地域の魅力を活用した取り組みやコンテンツが世界に知られ評価され、それを目的として世界から来訪することにより地域及び地域住民・関係者の誇り、活力が向上すると説明されました。

第2部では鳥取県関西本部万博推進室の亀谷雅俊室長から、万博を契機とした誘客を図るため、「とっとりリアル・パビリオン」のオープンや観光事業者等によるおもてなしの取り組みの支援、官民一体となってテーマパークのような特別感を県全体で演出することで万博期間中の県内観光を盛り上げることなど、万博開催に伴う鳥取県のプロモーションや誘客対策等々についての説明がありました。

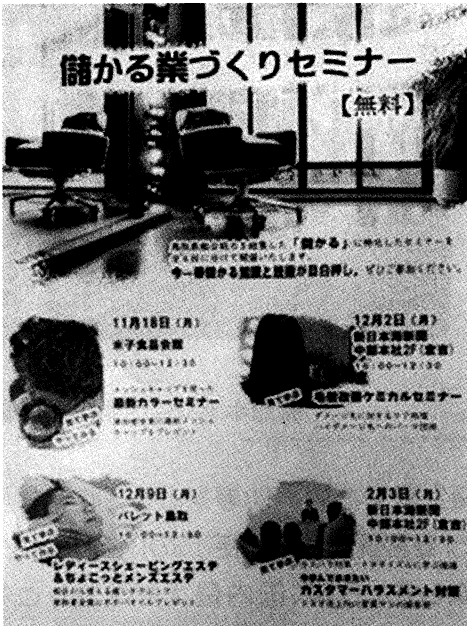
(事務局 米原)

『儲かる業づくりセミナー』の開催

理容生活衛生同業組合

令和6年度全国理容連合会推進事業として「儲かる業づくり(ヘアサロンの売れるメニューづくり)セミナー」を県内3地区で開催しました。

この事業は、時代にあった適正価格でのサービスの提供や生産性向上に伴う衛生水準の確保、賃上げ・雇用維持においてヘアサロンの売れるメニューづくり



を行うもので、時代に即した技術の活用法や新サービスをテーマに実施し、サービスのブラッシュアップによる値上げと生産性の向上で理容店の経営状況の改善を図る事を目的とした事業です。

業界内から有識者講師を県内外から選考し、基礎から応用までの座学や技術を組み合わせた教育プログラムを学ぶ事で組合員の技術力を大きく高め、顧客満足度の向上・リピーターの獲得・新規客の獲得が期待できるだけでなく、自店のブランド価値や成長の加速に繋がられるセミナーとなりました。

(広報部長 鍛本)

次世代育成の推進

クリーニング生活衛生同業組合

“次世代育成が組織の生命線であり、今取り組むべき最重要ミッションである”との認識のもと、令和4年度より全国クリーニング生活衛生同業組合連合会のもと、各都道府県の青年部(単青組)が中心となり、新しい活動の形を模索しているところですが、我が県組合には青年部はなく、その活動に後れを取っていました。

令和5年度から、若い組合員を中国ブロックで開催される次世代支援会議に派遣し、中央青年部会・現役青年部員との意見の集約・交換をする機会を持つようにしました。

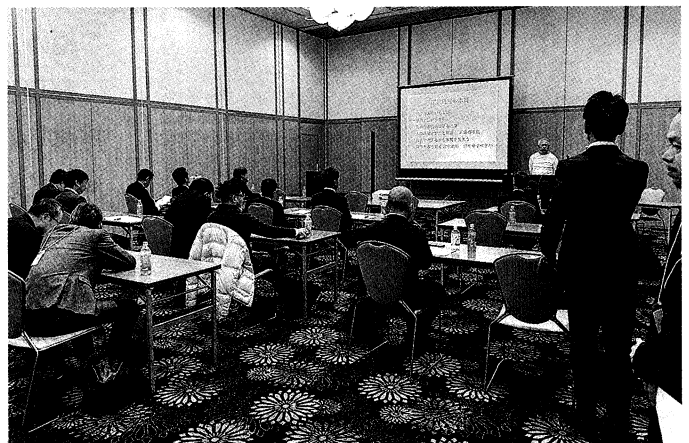
昨年も、11月30日に岡山市で開催された次世代支援会議に2名を派遣しました。

会議では、全員を対象とした講演の後、グループワークに分かれ、単青組のあるべき姿、個々の事業者ではできないことを実現する組合組織の意義を確認し、ブロック共同事業等について意見交換を行いました。

その後、もう一度、全員で青年層の現状及び近況報告を行い終了しました。

今現在、組合内に青年部を新たに組織することは難しい状態ですが、このような機会に積極的に参加し、組合活動の活性化に若い力を発揮してくれることを願い、人材育成に力を注いでいきます。

(事務局 徳田)



山陰地方で初!! 事業承継マッチング in 鳥取を開催

(株)日本政策金融公庫鳥取支店

日本政策金融公庫鳥取支店は、鳥取県生活衛生営業指導センターの後援を受け、昨年9月に「事業承継マッチング in 鳥取」を開催しました。本取組みは、県内の中小企業が直面する後継者不足という課題に対応するため、第三者への事業承継を促進し、地域経済の持続的な発展を支援することを目的としています。特に、飲食業や宿泊業といった生活衛生関係の事業者にとって、円滑な事業承継は地域の雇用や経済を守る上で重要なテーマです。

今回のイベントにはオンラインで185名が参加し、事業承継に対する関心の高さがうかがえました。当日は、県内から事業承継を希望する4社が登壇し、それぞれの事業内容や経営の強み、後継者に引き継ぎたい想いをプレゼンテーションしました。登壇企業の中には、地域に長く根ざし、地域住民から愛される老舗企業も含まれており、参加者からは多くの質問や関心が寄せられました。

また、プレゼンテーション後には、登壇者の事業内容に関心のある方々との交流会を実施しました。この交流会では、事業内容や承継後のビジョンについて、意見交換が行われました。参加者同士が直接対話することで、マッチングに向けた初期段階のコミュニケーションが生まれ、事業承継への第一歩を踏み出す場となりました。本イベントを契機に、地域の事業者と後継希望者が新たなつながりを築き、事業承継に向けた具体的な動きが始まりつつあります。

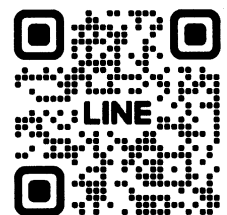
日本公庫鳥取支店では、鳥取県生活衛生営業指導センター、各生活衛生同業組合の皆様と連携し、今後も事業承継支援に取り組み、地域経済の発展に貢献できるよう取り組んでまいります。



～指導センター LINE公式アカウント～

指導センターのLINE公式アカウントでは、物価高騰などに対する国・県・市町村の支援策や指導センターが行う講習会や研修会などの情報をお届けしています。

友だち追加は、右のQRコードを読み込んでください。



令和6年度生活衛生功労者表彰

栄えある受賞おめでとうございます

全国生活衛生同業組合中央会理事長表彰

影山 正庫 氏(西伯郡)

鳥取県美容業生活衛生同業組合常任理事



謹賀新年

本年も変わらず
よろしく願い申し上げます。



理事長 松本正嗣

(公財)鳥取県生活衛生営業指導センター

理事長 松本正嗣 (公衆浴場業組合理事長)

副理事長 鴨河猛志 (クリーニング組合理事長)

副理事長 小谷文夫 (旅館ホテル組合理事長)

常務理事 小畑正一 (指導センター)

理事 正田真弓 (美容業組合理事長)

理事 戸崎恭一郎 (理容組合理事長)

理事 山中裕二 (飲食組合理事長)

理事 酒井昭徳 (食肉組合理事長)

監事 西尾達也 (美容業組合副理事長)

監事 福田哲也 (クリーニング組合副理事長)

経営指導員 中嶋京子

事務職員 小林真由美

皆様のご健勝とご繁栄を心からお祈り申し上げます。

株式会社 日本政策金融公庫

鳥取支店 国民生活事業

事業統轄 秋山 修一郎



米子支店

支店長 鹿子生 康利



《特別会員紹介》

株式会社プラスビッツ

◇業務内容 ホームページ制作、Webシステム開発等
〒680-0801 鳥取市松並町2丁目160番地
城北ビル(3F)308号
TEL 0857-30-3100 FAX 0857-30-3101

(有)福井印刷

◇一般企業の方から小売店・飲食店・美容室・サービス業・個人
の方まで 見積無料! 少数部でも大量のご注文でもOK!
〒680-0872 鳥取市宮長21-4
TEL 0857-37-4669 FAX 0857-37-4628